

北海道介護職員初任者研修に基づく情報開示

研修機関情報	事業所名所			北海道更別農業高等学校							
	所在地			北海道河西郡更別村字更別基線 9 5							
	代表者名			校長 室伏 諭							
	理念			勉学・勤労・自主・協調							
	学則			学則を参照							
	研修施設・設備			北海道更別農業高等学校・家庭経営室 別紙 2 を参照							
研修事業情報	研修の概要			学則を参照							
	課程編成責任者			校長 室伏 諭							
	研修カリキュラム			科目別シラバス・時間数・特徴 別紙 1 を参照							
	修了評価			修了評価の方法 学則を参照							
実績情報	(過去の研修回数と研修修了人数)										
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
	6 人	8 人	12 人	12 人	7 人	5 人	8 人	10 人	4 人	8 人	3 人
連絡先	資料請求			北海道更別農業高等学校							
				TEL 0155 - 52 - 2362							
				FAX 0155 - 52 - 2261							
	対応者名			北海道更別農業高等学校 教頭 漆原 剛							

研 修 の 概 要

項 目	内 容
1 申請者の名称	北海道更別農業高等学校
2 申請者の主たる 事務所の所在地	〒089－1501 北海道河西郡更別字更別基線95番地 TEL 0155－52－2362
3 代表者の職・氏名	校 長 室 伏 諭
4 学校その他の 施設の名称	
5 研修の名称	介護職員初任者研修
6 事業所の所在地	〒089－1501 北海道河西郡更別村字更別基線95番地
7 対象地域	

注 1 「申請者の名称」は、法人以外の場合には「申請者の氏名」と書き替えること。

2 「申請者の主たる事務所の所在地」は、法人以外の場合には「申請者の住所」と書き替えること。郵便番号及び電話番号を必ず記載すること。

3 「学校その他の施設の名称」は、申請者の名称とは違う学校等の名称を使用している場合に記載すること。

4 「事業所の所在地」とは、研修を開催する市町村をいい、通信の場合には、主たる開催市町村（通常は、主たるスクーリング開催地）をいう。

5 「対象地域」は、通信の場合にのみ記載すること。

添付 2 号様式

学 則

1 研修の目的 高齢者などの増大かつ多様化するニーズに対応した適切なサービスを提供するため、必要な知識、技術を有する介護職員の養成を図ることを目的とする。

2 研修の名称 北海道更別農業高等学校・介護職員初任者研修

3 研修の課程

事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員（人）	受講料（円）	受講対象者
更別村	昼間	18 ヲ月	18 ヲ月	20 名	なし テキスト代 は 2 年次に 実費徴収	生活科学科 生活福祉 コース 2～3 年生

4 受講手続

(1) 募集時期 1 年次の 1 学期に行われるコース選択により生活福祉コースを選択した生徒について受講を決定する。

(2) 受講料納入方法 公立高等学校の授業の中で行われる研修であるため、受講料なし。

(3) 受講料返還方法 公立高等学校の授業の中で行われる研修であるため、受講料なし。

5 カリキュラム 詳細は別紙 1 様式に記載

科 目 名	研修時間
1. 職務の理解	6 時間
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間
3. 介護の基本	6 時間
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9 時間
5. 介護におけるコミュニケーション技術	6 時間
6. 老化の理解	6 時間
7. 認知症の理解	6 時間
8. 障害の理解	3 時間
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	7 5 時間
10. 振り返り	4 時間
合 計	1 3 0 時間

6 主要テキスト

- ・介護職員初任者研修テキスト 1 介護のしごとの基礎 第 3 版（3 年生）
- ・介護職員初任者研修テキスト 2 自立に向けた介護の実践 第 2 版（3 年生）
- ・介護職員初任者研修テキスト 1 介護のしごとの基礎 第 4 版（2 年生）
- ・介護職員初任者研修テキスト 2 自立に向けた介護の実践 第 3 版（2 年生）（中央法規）

- 7 修了認定
- (1) 出欠の確認方法 研修の開始前に出欠確認を行う。研修時間に欠席した者については、課題の提出及び演習・実習の補講をもって研修の出席と見なす。
- (2) 成績の評定方法 講師による評価（要綱別紙1の介護職員初任者研修における目標、評価の指針に基づいて評価する）及び筆記試験により行い、本校教務内規第6章評価・評定により成績の評定を行う。
なお、修了試験は全体に対する6割以上の正答を合格基準とする。
- (3) 修了の認定方法 全科目終了時に講師による評価及び筆記試験により行い、本校で定めた全研修時間の出席と本校教務内規第29条により当該科目の単位を認定された者について修了と認定する。
- (4) 修了証明書 修了が認定された者については、別紙5の修了証明書を交付する。
- 8 補講の取扱い 研修（演習・実習）を欠席した者及び研修成績及び出席が基準に達していない場合は、本校規定の補講を受けなければならない。受講費用は無料。
上限時間は全研修の2割以内とする
- 9 退学規定 本校非行・事故生徒処置規定により退学が命ぜられた場合は、研修を直ちに打ち切るものとする。
- 10 講師 添付4号様式
- 11 実習施設 別紙2
- 12 その他
- (1) 修了証の再発行
修了証の紛失、氏名変更などの場合には、書面による申請がされたうえで、戸籍抄本もしくは住民票の写しと引き換えに再交付する。

付則 この学則は令和5年4月3日一部改正

介護職員初任者研修カリキュラム

更別農業高校

科 目	項 目	内 容	時間	研修	講 師（講 師 項 目 数）
（１）職務の理解 （６時間）	①多様なサービスの理解	１ 介護保険による居宅サービス ２ 介護保険による施設サービス ３ 介護保険外のサービス	２ (120)	講義 演習	中野先生 １
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	１ 介護保険サービスを提供する現場の実際 ２ 介護サービスの提供に至るまでの流れ ３ 介護過程とチームアプローチ	２ (120)	講義 演習	中野先生 ２
	◎ 在宅サービス提供現場見学		２ (120)	実習	荻原先生 １
（２）介護における尊厳の保持・自立支援 （９時間）	①人権と尊厳を支える介護	１ 人権と尊厳の保持 ２ ＩＣＦ ３ ＱＯＬ ４ ノーマライゼーション ５ 虐待防止・身体拘束禁止	６ (360)	講義 演習	中野先生 ３
	②自立に向けた介護	１ 自立支援 ２ 介護予防	３ (180)	講義 演習	中野先生 ４
（３）介護の基本 （６時間）	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	１ 介護環境の特徴 ２ 介護の専門性 ３ 介護にかかわる職種	２ (120)	講義 演習	中野先生 ５
	②介護職の職業倫理	１ 専門職の倫理の意義 ２ 介護福祉士の倫理	１ (60)	講義 演習	中野先生 ６
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	１ 介護における安全の確保 ２ 事故予防、安全対策 ３ 感染対策	２ (120)	講義 演習	神田先生 １
	④介護職の安全	１ 介護職の心身の健康管理 ２ 感染予防	１ (60)	講義 演習	神田先生 ２
（４）介護・福祉サービスの理解と医療との連携 （９時間）	①介護保険制度	１ 介護保険制度創設の背景および目的、動向 ２ 介護保険制度のしくみの基礎的理解 ３ 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割	３ (180)	講義 演習	佐藤(英)先生 １
	②医療との連携とリハビリテーション	１ 医行為と介護 ２ 訪問介護 ３ 施設における看護と介護の役割・連携 ４ リハビリテーション	３ (180)	講義 演習	山田先生・荻原先生 黒岩先生・松山先生 石川先生・寺山先生 堂坂先生・池田先生 近藤先生・小島先生 １
	③障害者総合支援制度およびその他制度	１ 障害者福祉制度の概念 ２ 障害者自立支援制度のしくみの基礎的理解 ３ 個人の人権を守る制度の概要	３ (180)	講義 演習	佐藤(英)先生 ２
（５）介護におけるコミュニケーション技術 （６時間）	①介護におけるコミュニケーション	１ コミュニケーションの意義、目的、役割 ２ コミュニケーションの技法 ３ 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ４ 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際	４ (240)	講義 演習	神田先生 ３
	②介護におけるチームのコミュニケーション	１ 記録における情報の共有化 ２ 報告・連絡・相談 ３ コミュニケーションを促す環境	２ (120)	講義 演習	神田先生 ４
（６）老化の理解 （６時間）	①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴	１ 老化と老年期 ２ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ３ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響	３ (180)	講義 演習	正保先生 １
	②高齢者と健康	１ 高齢者の症状・疾患の特徴 ２ 高齢者の疾病と日常生活上の留意点 ３ 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点	３ (180)	講義 演習	竹村先生 １

(7) 認知症の理解 (6 時間)	①認知症を取り巻く状況	1 認知症ケアの理念 2 認知症ケアの視点	1 (60)	講義 演習	松橋先生 1
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1 認知症の概念 2 認知症の原因疾患とその病態 3 原因疾患別ケアのポイント 4 健康管理	2 (120)	講義 演習	山田先生 2
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 2 認知症の利用者への対応	2 (120)	講義 演習	松橋先生 2
	④家族への支援	1 家族へのレスパイトケア 2 家族へのエンパワメント	1 (60)	講義 演習	松橋先生 3
(8) 障害の理解 (3 時間)	①障害の基礎的理解	1 障害の概念と I C F 2 障害者福祉の基本理念	0. 5 (30)	講義	竹村先生 2
	②障害の医学的側面、生活障害などの基礎的知識	1 身体障害 2 知的障害 3 精神障害 4 発達障害 5 難病	2 (120)	講義 演習	竹村先生 3
	③家族の心理、かかわり支援の理解	1 家族の理解と障害の受容支援 2 介護負担の軽減	0. 5 (30)	講義	菅野先生 1
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)	I 基本知識の学習 (1 3 時間)				
	①介護の基本的な考え方	1 理論にもとづく介護 2 法的根拠にもとづく介護	3 (180)	講義	辻 1
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	1 学習と記憶に関する基礎知識 2 感情と意欲に関する基礎知識 3 自己概念と生きがい 4 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因	5 (300)	講義 演習	辻 2
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	1 生命の維持・恒常のしくみ 2 人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 3 骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 4 中枢神経と体性神経に関する基礎知識 5 自律神経と内部器官に関する基礎知識	5 (300)	講義 演習	辻 3
	II 生活支援技術の講義・演習 (5 0 時間)				
	④生活と家事	1 生活と家事の理解 2 家事援助に関する基礎知識と生活支援	5 (300)	講義 演習	角井先生 1
	⑤快適な居住環境整備と介護	1 快適な居住環境に関する基礎知識 2 高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用	5 (300)	講義 演習	小林先生 1
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 整容に関する基礎知識 2 整容の支援技術	5 (300)	講義 演習	辻先生 1
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 移動・移乗に関する基礎知識 2 移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 3 利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 4 移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 5 移動と社会参加の留意点と支援	6 (360)	講義 演習	山口先生 1
	⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立にむけた介護	1 食事に関する基礎知識 2 食事環境の整備と関連する用具の活用方法 3 楽しい食事を阻害する要因の理解とその支援方法 4 食事と社会参加の留意点と支援	6 (360)	講義 演習	佐藤(猛)先生 1
	⑨入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 入浴・清潔保持に関する基礎知識 2 入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法 3 楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法	6 (360)	講義 演習	松橋先生 4
	⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 排泄に関する基礎知識 2 排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 3 爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法	6 (360)	講義 演習	佐藤(猛)先生 2

	⑪睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	1 睡眠に関する基礎知識 2 睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 3 快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法	6 (360)	講義 演習	山口先生 2
	⑫死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	1 終末期に関する基礎知識 2 生から死への過程 3 「死」に向き合うところの理解 4 苦痛の少ない死への支援	5 (300)	講義 演習	菅野先生 2
	Ⅲ 生活支援技術演習（12 時間）				
	⑬介護過程の基礎的理解	1 介護過程の目的・意義・展開 2 介護過程とチームアプローチ	1 (60)	講義	山口先生 3
	⑭総合生活支援技術演習	1 ホームヘルプサービス同行訪問	6	実習	荻原先生 2
		2 介護施設実習	5	実習	神田先生 5
(10) 振り返り (4 時間)	①振り返り		3 (180)	講義 演習	辻 5
	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修		1 (60)	講義	辻 6
合 計			130 時間		

修了評価	評価試験（筆記試験）	評価筆記試験	1	評価試験	辻
------	------------	--------	---	------	---

A 表

(裏面)

北海道更別農業高等学校

全日制課程

学科

農業科

教科	科目・標準単位数	学年	1 年	2 年			3 年			計		
		類型		共通	農業経営	農産加工	共通	農業経営	農産加工	農業経営	農産加工	
農業	農 業 と 環 境	2～6	3	2						5	5	
	課 題 研 究	2～6		3			3			6	6	
	総 合 実 習	2～8	3	1			1			5	5	
	農 業 と 情 報	2～6	2	2						4	4	
	作 物	2～8		2				3		5	2	
	野 菜	2～8			2			3		5		
	畜 産	2～10	2		2					4	2	
	農 業 経 営	2～6					2			2	2	
	農 業 機 械	2～6						2		2		
	食 品 製 造	2～8				2			4		6	
食 品 化 学	2～8							2		2		
食 品 流 通	2～6				2			2		4		
○総合	○カルチベーション	1	1							1	1	
各学科に共通する各教科・科目の計			19	15			15			49		
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			10	14			14			38		
学校設定教科に関する科目の計			1	0			0			1		
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)		3～6	0	0			0			0		
自 立 活 動		0～3	0～3								0～3	
合 計			30～31	29～30			29～30			88～91		
特別活動	ホームルーム活動		1	1			1			3		
教 育 課 程 に 係 る そ の 他 の 事 項												
卒業までに修得させる単位数			74 単位			卒業に必要な履修と修得の単位数			○ 1 分離している 2 分離していない			
学 期 の 区 分			○ 1 3学期制 2 2学期制	学期の区分ごとの 単 位 修 得 の 認 定			1 実施している ○ 2 実施していない					
1 単 位 時 間 の 弾 力 化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他 ()									
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (④) 2 実施していない									
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。									
備 考	「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替 「情報Ⅰ」は「農業と情報」で代替 学校外における学修の単位認定は、「課題研究」1単位(インターンシップ)											

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 入学者教育課程表

A 表

(表面)

教育局

十勝

北海道更別農業高等学校

全日制課程

学科

生活科学科

第1学年の
学 級 数

1

[illegible]

A 表

(裏面)

北海道更別農業高等学校

全日制課程

学科

生活科学科

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		計	
				共通	生活文化	生活福祉	共通	生活文化	生活福祉	生活文化
農業	農 業 と 環 境	2～6	3	2					5	5
	課 題 研 究	2～6		3			3		6	6
	総 合 実 習	2～8	3	1			1		5	5
	農 業 と 情 報	2～6	2	2					4	4
	草 花	2～8	2			2			2	4
	食 品 製 造	2～8			4			2	6	
	生 物 活 用	2～6					2		2	2
	地 域 資 源 活 用	2～8						2	2	
家庭	生 活 産 業 基 礎	2～4					2		2	2
	生 活 と 福 祉	2～6				2				2
	フー ド デ ザ イ ン	2～8		2			2		4	4
福祉	こころとからだの理解	2～8							4	4
○総合	○カルチベーション	1	1						1	1
各学科に共通する各教科・科目の計			19	15		15		49		
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			10	14		14		38		
学校設定教科に関する科目の計			1	0		0		1		
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)		3～6	0	0		0		0		
自 立 活 動		0～3	0～3						0～3	
合 計			30～31	29～30		29～30		88～91		
特別活動	ホームルーム活動		1	1		1		3		
教 育 課 程 に 係 る そ の 他 の 事 項										
卒業までに修得させる単位数			74 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数		○ 1 分離している 2 分離していない			
学 期 の 区 分			○ 1 3学期制 2 2学期制	学 期 の 区 分 ご と の 単 位 修 得 の 認 定		1 実施している ○ 2 実施していない				
1 単 位 時 間 の 弾 力 化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()							
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (④) 2 実施していない							
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。							
備 考	「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替 「情報Ⅰ」は「農業と情報」で代替 学校外における学修の単位認定は、「課題研究」1単位(インターンシップ)									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 入学者教育課程表

A 表

(表面)

教育局

十勝

北海道更別農業高等学校

全日制課程

学科

生活科学科

第1学年の
学 級 数

1

教科	学年		1 年	2 年			3 年			計	
	科目・標準単位数	類型		共通	生活文化	生活福祉	共通	生活文化	生活福祉	生活文化	生活福祉
国語	現代の国語	2	2							2	2
	言語文化	2	1	1						2	2
	論理国語	4									
	文学国語	4									
	国語表現	4		1			3			4	4
	古典探究	4									
	○国語探究	2					2			0～2	0～2
地理歴史	地理総合	2					2			2	2
	地理探究	3									
	歴史総合	2	2							2	2
	日本史探究	3									
	世界史探究	3									
公民	公共	2		2						2	2
	倫理	2									
	政治・経済	2									
	○時事問題研究	2					2			0～2	0～2
数学	数学Ⅰ	3	2	2						4	4
	数学Ⅱ	4									
	数学Ⅲ	3									
	数学A	2				2			2	2	
	数学B	2									
	数学C	2									
	○実用数学	2					2			0～2	0～2
理科	科学と人間生活	2	2							2	2
	物理基礎	2									
	物理	4									
	化学基礎	2		2						2	2
	化学	4									
	生物基礎	2				2			2	2	
	生物	4									
	地学基礎	2									
	地学	4									
○生活の科学	2					2			0～2	0～2	
保健体育	体育	7～8	3	2			2			7	7
	保健	2	1	1						2	2
芸術	音楽Ⅰ	2									
	音楽Ⅱ	2					2				
	音楽Ⅲ	2									
	美術Ⅰ	2									
	美術Ⅱ	2									
	美術Ⅲ	2									
	工芸Ⅰ	2									
	工芸Ⅱ	2									
	工芸Ⅲ	2									
	書道Ⅰ	2	2							2	2
	書道Ⅱ	2									
	書道Ⅲ	2									
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2						4	4
	英語コミュニケーションⅡ	4									
	英語コミュニケーションⅢ	4									
	論理・表現Ⅰ	2				2			2	2	
	論理・表現Ⅱ	2									
	論理・表現Ⅲ	2									
	○英会話	2					2			0～2	0～2
家庭	家庭基礎	2									
	家庭総合	4	2	2						4	4
情報	情報Ⅰ	2									
	情報Ⅱ	2									

A 表

(裏面)

北海道更別農業高等学校

全日制課程

学科

生活科学科

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年		2 年		3 年		計	
				共通	生活文化	生活福祉	共通	生活文化	生活福祉	生活文化
農業	農 業 と 環 境	2～6	3	2					5	5
	課 題 研 究	2～6		3			3		6	6
	総 合 実 習	2～8	3	1			1		5	5
	農 業 と 情 報	2～6	2	2					4	4
	草 花	2～8	2			2			2	4
	食 品 製 造	2～8			4			2	6	
	生 物 活 用	2～6					2		2	2
	地 域 資 源 活 用	2～8						2	2	
家庭	生 活 産 業 基 礎	2～4					2		2	2
	生 活 と 福 祉	2～6				2				2
	フー ド デ ザ イ ン	2～8		2			2		4	4
福祉	こころとからだの理解	2～8							4	4
○総合	○カルチベーション	1	1						1	1
各学科に共通する各教科・科目の計			19	15		15		49		
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			10	14		14		38		
学校設定教科に関する科目の計			1	0		0		1		
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)		3～6	0	0		0		0		
自 立 活 動		0～3	0～3						0～3	
合 計			30～31	29～30		29～30		88～91		
特別活動	ホームルーム活動		1	1		1		3		
教 育 課 程 に 係 る そ の 他 の 事 項										
卒業までに修得させる単位数			74 単位		卒業に必要な履修と修得の単位数		○ 1 分離している 2 分離していない			
学 期 の 区 分			○ 1 3学期制 2 2学期制	学 期 の 区 分 ご と の 単 位 修 得 の 認 定		1 実施している ○ 2 実施していない				
1 単 位 時 間 の 弾 力 化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()							
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (④) 2 実施していない							
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。							
備 考	「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替 「情報Ⅰ」は「農業と情報」で代替 学校外における学修の単位認定は、「課題研究」1単位(インターンシップ)									

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 学年別教育課程表

B 表

(表 面)

教育局	十勝
-----	----

北海道更別農業高等学校	全日制課程
-------------	-------

学科	農業科
----	-----

学級数	第1学年	1
	第2学年	1
	第3学年	1

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年	2 年			3 年		
				共通	農業経営	農産加工	共通	農業経営	農産加工
国語	現代の国語	2	2						
	言語文化	2	1	1					
	論理国語	4							
	文学国語	4							
	国語表現	4		1			3		
	古典探究	4							
	○国語探究	2					2		
地理歴史	地理総合	2					2		
	地理探究	3							
	歴史総合	2	2						
	日本史探究	3							
	世界史探究	3							
公民	公共	2		2					
	倫理	2							
	政治・経済	2							
	○時事問題研究	2					2		
数学	数学Ⅰ	3	2	2					
	数学Ⅱ	4							
	数学Ⅲ	3							
	数学A	2					2		
	数学B	2							
	数学C	2							
	○実用数学	2					2		
理科	科学と人間生活	2	2						
	物理基礎	2							
	物理	4							
	化学基礎	2		2					
	化学	4							
	生物基礎	2					2		
	生物	4							
	地学基礎	2							
	地学	4							
保健体育	体育	7～8	3	2			2		
	保健	2	1	1					
芸術	音楽Ⅰ	2							
	音楽Ⅱ	2							
	音楽Ⅲ	2							
	美術Ⅰ	2							
	美術Ⅱ	2							
	美術Ⅲ	2							
	工芸Ⅰ	2							
	工芸Ⅱ	2							
	工芸Ⅲ	2							
	書道Ⅰ	2	2						
	書道Ⅱ	2							
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2					
	英語コミュニケーションⅡ	4							
	英語コミュニケーションⅢ	4							
	論理・表現Ⅰ	2					2		
	論理・表現Ⅱ	2							
	論理・表現Ⅲ	2							
家庭情報	○英会話	2					2		
	家庭基礎	2							
	家庭総合	4	2	2					
情報	情報Ⅰ	2							
	情報Ⅱ	2							

理数	理数探究基礎	1						
数	理数探究	2～5						

B 表

(裏 面)

北海道更別農業高等学校	全日制課程	学科	農業科
-------------	-------	----	-----

教科	科目・標準単位数	学年	1 年	2 年			3 年		
		類型		共通	農業経営	農産加工	共通	農業経営	農産加工
農 業	農 業 と 環 境	2～6	3	2					
	課 題 研 究	2～6		3			3		
	総 合 実 習	2～8	3	1			1		
	農 業 と 情 報	2～6	2	2					
	作 物	2～8		2				3	
	野 菜	2～8			2			3	
	畜 産	2～10	2		2				
	農 業 経 営	2～6					2		
	農 業 機 械	2～6						2	
	食 品 製 造	2～8				2			4
	食 品 化 学	2～8							2
	食 品 流 通	2～6				2			2
○総合									
○カルチベーション		1	1						
各学科に共通する各教科・科目の計			19	15			15		
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			10	14			14		
学校設定教科に関する科目の計			1	0			0		
総合的な探究の時間 (総合的な探究の時間)		3～6	0	0			0		
自 立 活 動		0～3	0～3						
合 計			30～31	29～30			29～30		
特別活動	ホームルーム活動		1	1			1		
備 考			「総合的な探究の時間」は「課題研究」で代替 「情報Ⅰ」は「農業と情報」で代替						

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

令和6年度 学年別教育課程表

B 表

(表 面)

教育局	十勝
-----	----

北海道更別農業高等学校	全日制課程
-------------	-------

学科	生活科学科
----	-------

学級数	第1学年	1
	第2学年	1
	第3学年	1

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年	2 年			3 年		
				共通	生活文化	生活福祉	共通	生活技術	生活福祉
国語	現代の国語	2	2						
	言語文化	2	1	1					
	論理国語	4							
	文学国語	4							
	国語表現	4		1			3		
	古典探究	4							
	○国語探究	2					2	—	
地理歴史	地理総合	2					2		
	地理探究	3							
	歴史総合	2	2						
	日本史探究	3							
	世界史探究	3							
公民	公共	2		2					
	倫理	2							
	政治・経済	2							
	○時事問題研究	2					2	—	
数学	数学Ⅰ	3	2	2					
	数学Ⅱ	4							
	数学Ⅲ	3							
	数学A	2					2		
	数学B	2							
	数学C	2							
	○実用数学	2					2	—	
理科	科学と人間生活	2	2						
	物理基礎	2							
	物理	4							
	化学基礎	2		2					
	化学	4							
	生物基礎	2					2		
	生物	4							
	地学基礎	2							
	地学	4							
保健体育	体育	7～8	3	2			2		
	保健	2	1	1					
芸術	音楽Ⅰ	2							
	音楽Ⅱ	2							
	音楽Ⅲ	2							
	美術Ⅰ	2							
	美術Ⅱ	2							
	美術Ⅲ	2							
	工芸Ⅰ	2							
	工芸Ⅱ	2							
	工芸Ⅲ	2							
	書道Ⅰ	2	2						
	書道Ⅱ	2							
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2					
	英語コミュニケーションⅡ	4							
	英語コミュニケーションⅢ	4							
	論理・表現Ⅰ	2					2		
	論理・表現Ⅱ	2							
	論理・表現Ⅲ	2							
	○英会話	2					2	—	
家庭	家庭基礎	2							
	家庭総合	4	2	2					
情報	情報Ⅰ	2							
	情報Ⅱ	2							

理数	理数探究基礎	1						
数	理数探究	2～5						

(裏面)

学科	生活科学科
----	-------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

教育用機械機器及び模型の目録

備品名		個数	備考
必置備品			
実習用モデル人形		1	
人体骨格模型		0	
成人用ベッド		3	
移動用リフト	床走行式	0	
	固定式	0	
	据置式	0	
スライディングボード		1	
スライディングマット		1	
車いす		6	
簡易浴槽		0	
シャワーチェア		1	
ストレッチャー		0	
床頭台		0	
排泄用具	ポータブルトイレ	1	
	尿器等	3	
補講補助杖		5	
盲人安全杖	普通用	0	
	携帯用	0	
視聴覚機器	テレビ	2	
	ビデオ	1	
	ブルーレイ・DVD	1	
	プロジェクター	1	
障がい者用食器		4	
吸いのみ		3	
口腔ケアモデル		1	
その他の主な備品			
聴診器		6	
血圧計		3	
防水シート		4	
体位交換クッション		3	
エプロン		4	

	リハビリ寝巻		1	
	パジャマ		5	
	和装寝巻		4	
	タオルケット		8	
	シーツ		5	
	枕カバー		2	
	ドライシャンプー		6	
	シャンプー		3	
	リンス		3	
	ボディーソープ		2	
	シャワーボトル		6	
	ドライヤー		3	
	温度計		3	
	高齢者疑似 体験道具	肘サポーター	3	
		膝サポーター	4	
		ウェイト	1 1	
		アイマスク	3	
		イヤードیفENDER	2	
		ゴーグルセット	3	
		ゴム手袋	2	箱
		ゴム手袋	7	
		耳栓	1	
		サポーター	2	
		ソフトシーネ	4	
	キャップハンディ 疑似体験道具	ギプス体験モデル	1	

添付 5 号様式

実 習 施 設 一 覧

科目（項目）名 在宅サービス提供現場見学実習

事業所の所在地 更別村

承諾書 番 号	施 設 名	郵便番号	住 所	電 話 番 号	設 置 者 名	実 習 指 導 者		
						氏 名	経験年数	主な資格名
1	コムニの里さらべつ デイサービスセンタ ー	089 - 1509	更別村字更別南 3 線	0155-53-3300	社会福祉法人 博愛会	荻原 悦子	18年	介護福祉士

注 1 この様式は、科目（項目）ごとに作成すること。

2 「設置者名」は、施設長名ではないこと。 例 社会福祉法人□□会 特養△△荘 → 設置者は□□会となる。

添付 5 号様式

実 習 施 設 一 覧

科目（項目）名 訪問介護同行実習

事業所の所在地 更別村

承諾書 番 号	施 設 名	郵便番号	住 所	電 話 番 号	設 置 者 名	実 習 指 導 者		
						氏 名	経験年数	主な資格名
1	コムニの里さらべつ 訪問介護事務所	089 - 1509	更別村字更別南 3 線	0155-53-3300	社会福祉法人 博愛会	荻原 悦子	18年	介護福祉士

注 1 この様式は、科目（項目）ごとに作成すること。

2 「設置者名」は、施設長名ではないこと。 例 社会福祉法人□□会 特養△△荘 → 設置者は□□会となる。

添付 5 号様式

実 習 施 設 一 覧

科目（項目）名 介護実習

事業所の所在地 更別村

承諾書 番 号	施 設 名	郵便番号	住 所	電 話 番 号	設 置 者 名	実 習 指 導 者		
						氏 名	経験年数	主な資格名
1	コムニの里さらべつ	089 - 1509	更別村字更別南 3 線	0155-53-3300	社会福祉法人 博愛会	神田 剛志	3年	介護支援専門員 介護福祉士

- 注 1 この様式は、科目（項目）ごとに作成すること。
- 2 「設置者名」は、施設長名ではないこと。 例 社会福祉法人□□会 特養△△荘 → 設置者は□□会となる。

①卒業者の延べ人数

	平成20年度まで	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
生活科学科	193	14	14	4	16	6	8	12	12	7	5	12	12	7	8	3	333
生活福祉コース																	

②卒業生の進路の状況（R5年度）

	進学		就職				未定	計
	大学 短大	専門 学校	農業 自営	農業 関係	福祉 施設	その他		
農業科	1	8	3	1	0	8	0	21
生活科学科	1	0	0	0	0	10	0	11
合 計	2	8	3	1	0	18	0	32

令和5年度進路先一覧

*進学先

酪農学園大学（農食環境学群循環農学類）/北海道文教大学（人間科学部健康栄養学科）
 帯広大谷短期大学（地域共生学科キャリアデザインコース）/北海道立農業大学校（畜産経営学科）
 帯広コア専門学校（高度情報システム科）/帯広調理師専門学校（調理師科）
 北海道エコ・動物自然専門学校（総合ペット学科）/北海道情報専門学校（ゲームクリエイタ科）
 北海道理容美容専門学校（美容科）/北海道立帯広高等技術専門学院（自動車整備科） 順不同

*就職先

海上自衛隊/陸上自衛隊/中札内村商工会/秋津道路 株式会社/帯広電子株式会社
 株式会社 匠創建/株式会社 千葉建設/株式会社 とかち帯広ヤマザキ/株式会社 マルハン
 株式会社 もっかいトラスト 帯広営業所/サンテクノ 株式会社/ポテもーふぁーむ株式会社
 山崎製パン株式会社 順不同

【令和6年3月1日現在】

第 号

修 了 証 明 書

氏 名

年 月 日生

介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）第三条
第一項第一号ロに掲げる研修の課程（介護職員初任者研修）
を修了したことを証明する。

年 月 日

北海道更別農業高等学校

校長 室伏 諭 印

第 号

修 了 証 明 書（携 帯 用）

氏名

年 月 日生

介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）第三条
第一項第一号ロに掲げる研修の課程（介護職員初任者研修）
を修了したことを証明する。

年 月 日

北海道更別農業高等学校

校長 室伏 諭 印